

茅野市議会議員と交流会を実施

茅野市とは海と山の自然都市間で、市民、各種団体、産業経済、教育文化の交流を図ることや都市行政の相互研究を行うこと等を基本として、旧旭市が昭和49年12月3日に姉妹都市提携を結びました。昭和62年からは姉妹都市交流として、4年に1度お互いの市を訪ね、交流を深めています。

今年度は茅野市議会から議長、副議長、議会運営委員会の皆さんが本市を訪れました。

視察後は交流会で意見交換をしました

視察後は旭市役所1階市民ホールで「脱コロナによる今後の議会運営について」をテーマに意見交換を実施。

傍聴人の制限や一般質問時間等の制限、今後の議会運営の課題等について、互いの議会の状況等を共有し、活発な意見交換を行うことができ、非常に実りある交流会となりました。

旭市のここを視察してもらいました

- 道の駅「季楽里あさひ」
- 飯岡刑部岬展望館～光と風～
- 多世代交流施設「おひさまテラス」
- 旭市役所の議場と展望階



おひさまテラスを視察する茅野市議員



茅野市議会の皆さんと交流会



矢島正恒議長から訪問のご挨拶

議会のICT化で資料をペーパーレス化

9月定例会からタブレット端末の運用を開始

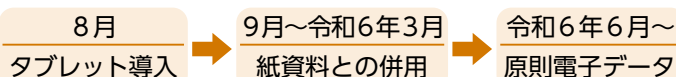
議員の調査環境の向上・議会資料等のペーパーレス化による議会運営の効率化や省資源化の推進、情報の共有化を図るため、8月からタブレット端末を導入し、9月定例会から運用を開始。

来年3月定例会までは紙との併用により運用し、利用者の意見・要望等を聞きながら課題点を洗い出し、より効率的な運用形態となるよう改善を図り、6月定例会からの完全ペーパーレス化を目指します。

導入による効果

- ペーパーレス化による環境負荷の軽減、効果的・効率的な議会運営が図れる。
- 資料の即時共有や配信、携行により議員活動の活性化が図られる。
- 議員同士や議会事務局との連絡ツールとして、スケジュール管理や情報共有の効率化が図られる。
- 災害時の議員の安否確認、災害情報の共有化及び情報伝達の迅速化、議員からの被災情報や要望の一元化が図られる。

ペーパーレス化のスケジュール



紙の資料をデータ化することでペーパーレス化



導入したタブレット端末